

1. 大阪府連の課題

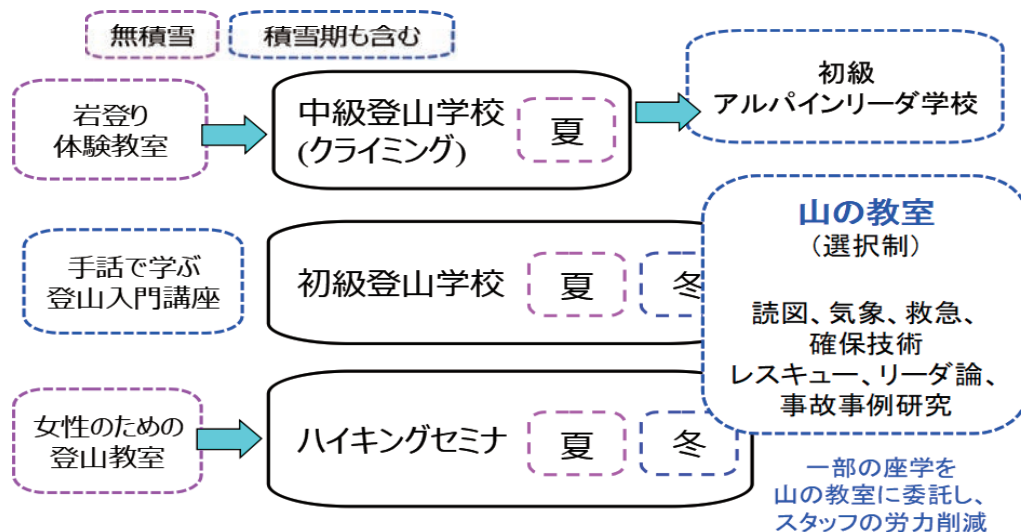
- ・ 会員数の減少と高齢化 2021 年：1059 人→2023 年：935 人

事象	課題	対策
高齢化	各会で新人教育が出来ない (会しまいを考えている)	・ 連盟で、次世代教育を実施
会員減少	財政赤字化 (10年存続できるか)	楽しいと言われる会作り・仲間作り ・ HP、SNSで魅力発信 ・ 一般や高齢会員向けの楽しめる企画

- ・ 新人には教育を、ベテラン会員には登山年齢を伸ばし長く仲間でいてもらう

2. 学校体系の改変

- ・ 初級登山学校の再建と、山の教室で専門教育を開始。兵庫とは筋トレ共催。



3. 改善の効果

- ・ 山の教室：特定の内容に特化したスポット的な教育。

入門編と応用編（上級編）があり、基礎を学んでステップアップ出来る仕組み。

府連や各会が、教育カリキュラムに取り入れて登山学校システムを構築できる。

- ・ 初級登山学校

特定の山岳会からの受講生が一定数来ており、会の中堅を構築しつつある

修了生は翌年以降スタッフとしてサポート

- ・ 手話で学ぶ登山学校

ハンディキャップを持った方々で運営し

仲間作り、スキルアップを目指す。

年度	夏山受講生	冬山受講生
2022	5 人 (3 山岳会)	9 人 (5 山岳会)
2023	6 人 (3 山岳会)	5 人 (4 山岳会)
2024	2 人 (1 山岳会)	6 人 (4 山岳会)
2025	8 人 (5 山岳会)	開校前